

# つき合う相手の選択可能性と評判利用の効果

## How the social mobility affect the effectiveness of reputation?

鈴木貴久  
Takahisa SUZUKI

小林哲郎  
Tetsuro KOBAYASHI

### 評判とは？

- 例
  - ◆積極的に他人に協力をする人＝良い評判の持ち主
  - ◆自分だけ楽をしようとする人＝悪い評判の持ち主
- 良い評判を持つことで将来得をし、悪い評判を持つことで将来損をするなら、皆が協力しあえる関係になる  
⇒人間関係を豊かにするために有効

### どんな研究？

- 評判がうまく機能している場面としていない場面が存在する
  - －多くの人と協力関係を結ぶことを促進している？
- つき合う相手を選べる状況と選べない状況での評判の使われ方とその効果の違いを探る

## 評判の役割とその生成方法

### 評判の作られ方は？

本来は他人に協力する人は良い評判が、協力しない人には悪い評判が作られるはずだが、それだけでは不十分

1. **寛容**な評判生成  
「怠け者には協力してあげなくても、悪いことではない」  
評判の悪い相手に非協力でも良い評判にする  
⇒人間関係を拡張する役割を持った評判が作られる
2. **非寛容**な評判生成  
「怠け者に協力することは、甘やかす行為である」  
評判の悪い相手に協力したら悪い評判にする  
⇒人間関係を制限する役割を持った評判が作られる

### つき合う相手を選べるかどうか？

1. つき合う相手を自由に選べる状況  
例；インターネットオークション  
評判の悪い相手を避けることが可能  
⇒非寛容な評判生成がされやすい？
  2. つき合う相手を自由に選べない状況  
例；集合住宅での掃除当番制度  
評判の悪い相手ともつき合う必要がある  
⇒寛容な評判生成がされやすい？
- ◆つき合う相手を選べるかどうかによって、実際に評判の作られ方が異なる？

## つき合う相手の選択可能性と評判の作られ方

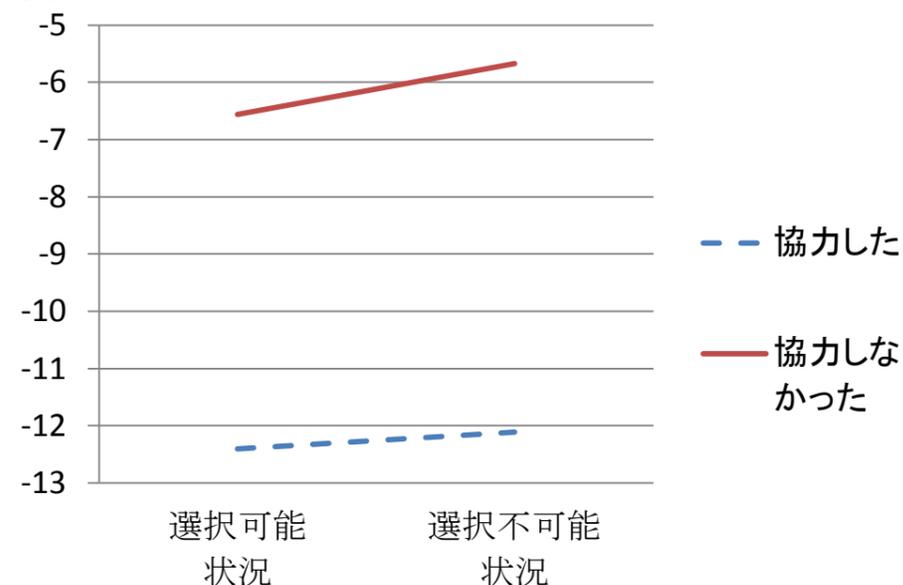
○つき合う相手の選択可能な状況での評判の作られ方と選択不可能な状況での評判の作られ方  
4種類のシナリオを読んで、Bさんの行動を評価してもらった実験

シナリオ

1. つき合う相手を自由に選べる状況で、Bさんは評判の悪いAさんに協力した
2. つき合う相手を自由に選べる状況で、Bさんは評判の悪いAさんに協力しなかった
3. つき合う相手を自由に選べない状況で、Bさんは評判の悪いAさんに協力した
4. つき合う相手を自由に選べない状況で、Bさんは評判の悪いAさんに協力しなかった

Bさんの行動を評価してもらった  
評価尺度  
a. 今後協力したい  
b. お人よしである  
c. 八方美人である  
d. 気が弱い

○結果



◆選別不可能な状況の方が、協力行動と非協力行動のどちらも高い評価を受けている

●つき合う相手を自由に選べる状況では  
評判の悪い人に協力しても、協力しなくても評価は低めになる  
⇒**非寛容**に評判が作られやすい  
人間関係を制限するために評判が用いられている

●つき合う相手を自由に選べない状況では  
評判の悪い人に協力しても、協力しなくても評価は高めになる  
⇒**寛容**に評判が作られやすい  
人間関係を拡張するために評判が用いられている